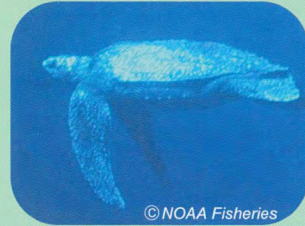
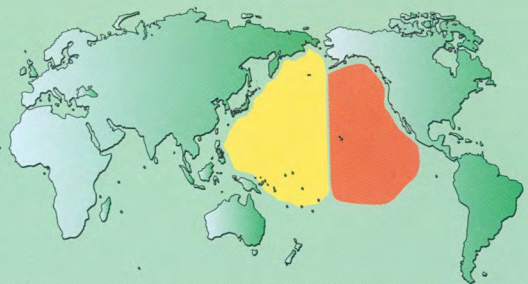


太平洋の海亀の状況 データ出典：IUCN

オサガメ



©NOAA Fisheries

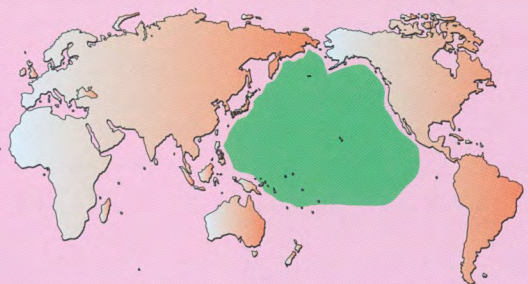


絶滅の危機  
絶滅の脅威

アカウミガメ

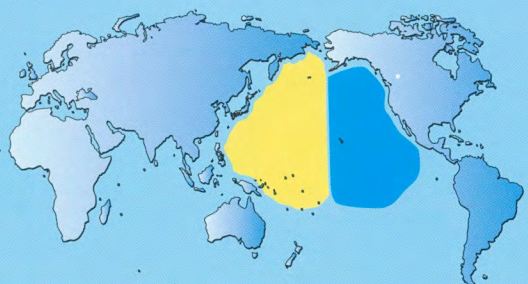


©NOAA Fisheries



明らかな減少

ヒメウミガメ



絶滅の脅威  
顕著な減少はない

混獲死亡を少なくするための努力をしましょう!

- 120mより浅い部分にねむり針を使用
- イカ餌の代わりにサカナ餌を使用

OPRTは生産・貿易・流通・消費のすべての人によって支えられています。

OPRT <責任あるまぐろ漁業推進機構>

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル7階  
TEL.03-3568-6388 FAX.03-3568-6389  
<http://www.oprt.or.jp>

# 海亀の混獲を減らして はえ縄漁業を守ろう



© Takashi Aoki

ねむり針

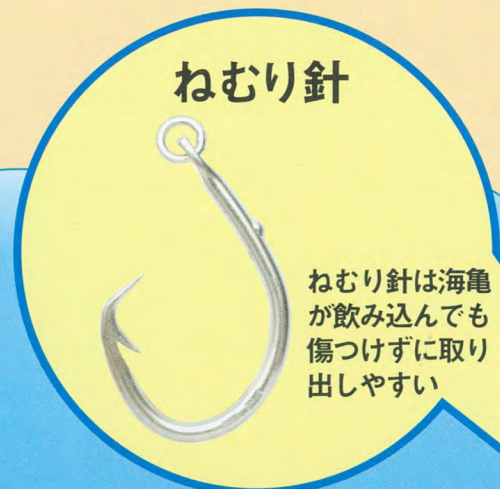


ねむり針使用普及のため平成16年度水産庁は補助事業を実施しています。詳細については所属中央団体を通じてOPRTまでお問い合わせ下さい。

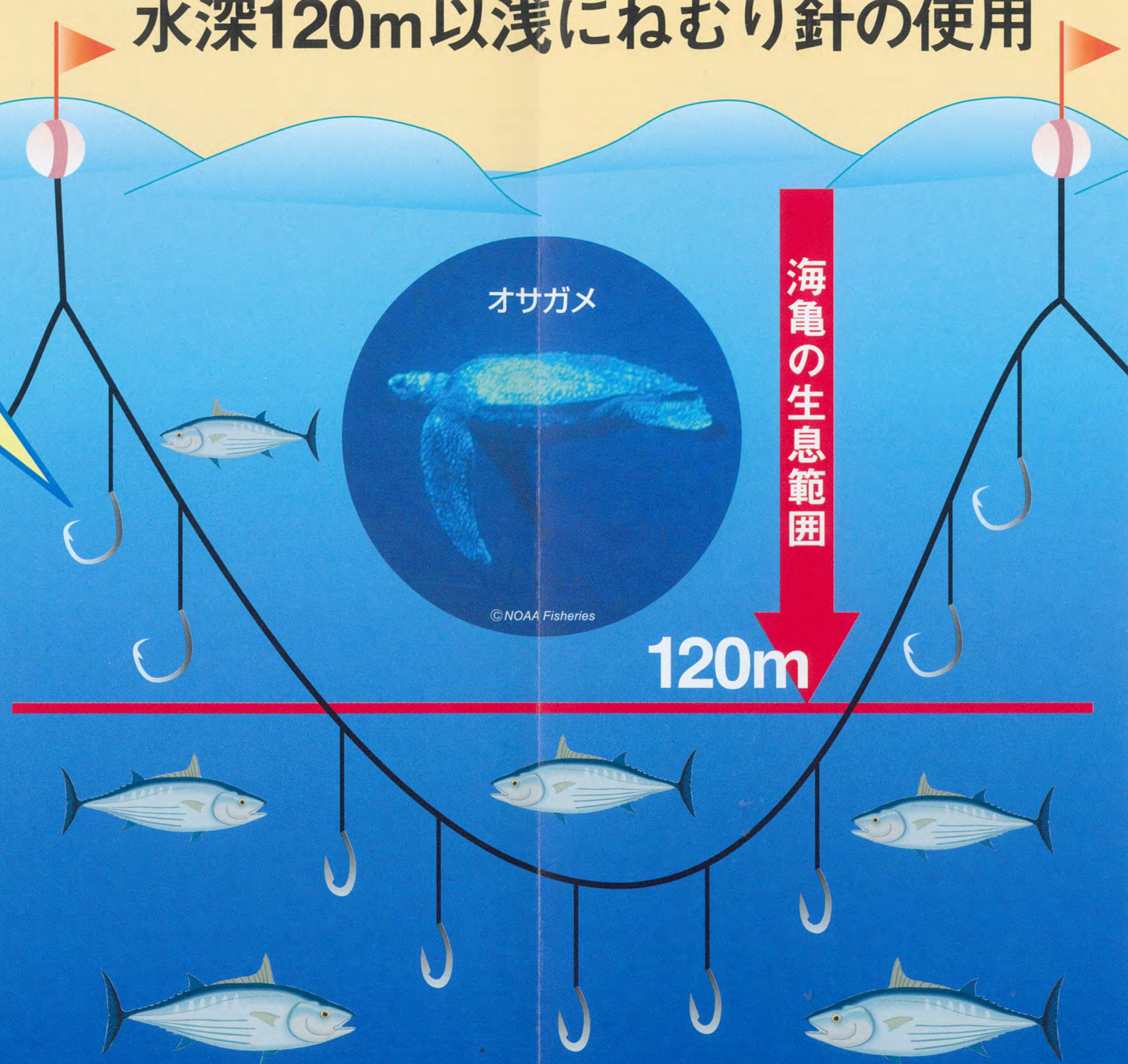
**OPRT 社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構**  
監修：遠洋水産研究所 混獲生物研究室



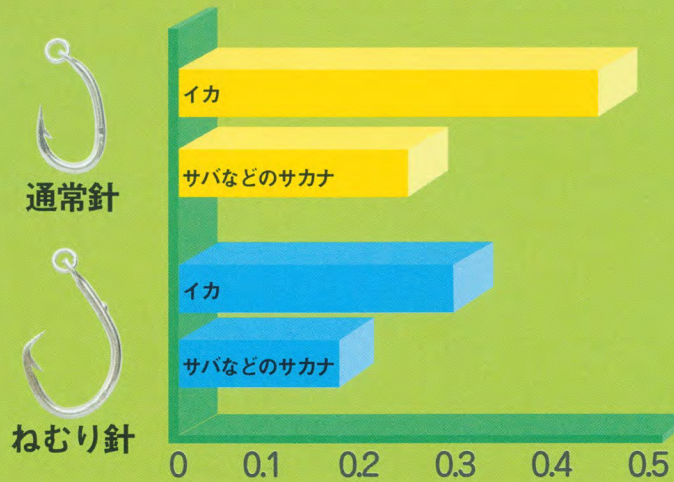
# 混獲の防止は、はえ縄漁業・海亀の未来へとつながります。



## 水深120m以浅にねむり針の使用



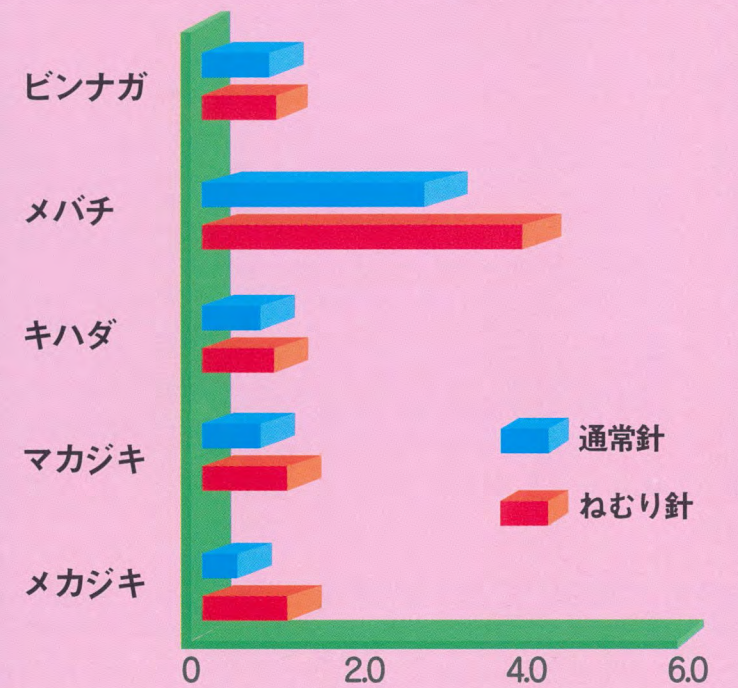
ねむり針でサバなどのサカナを餌に使った場合、オサガメの混獲が最小となっています。



針と餌の選択によるオサガメ混獲率

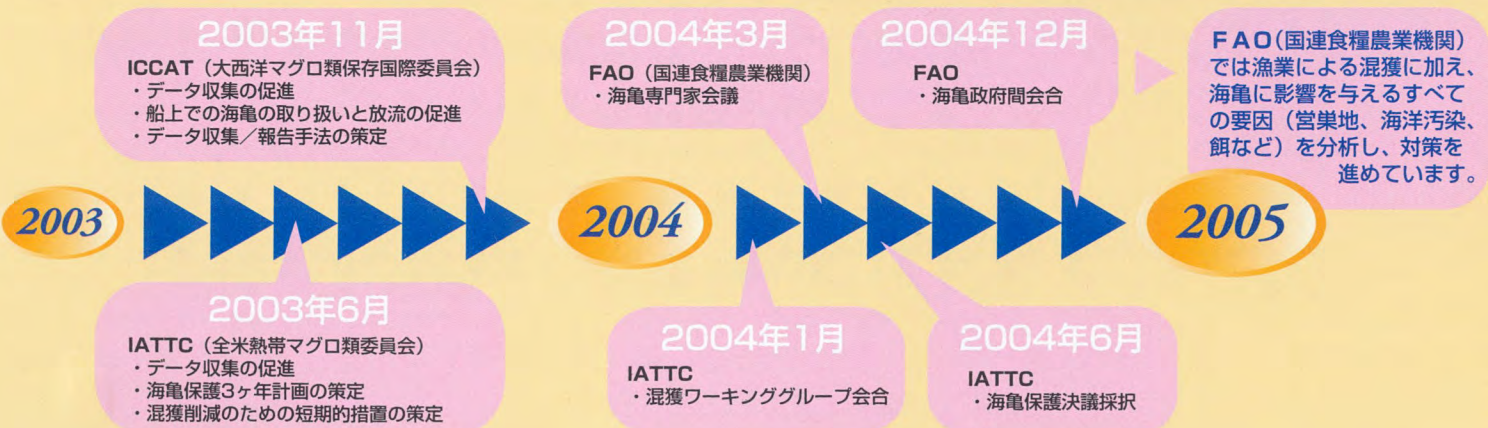
※ 1,000針ごとに混獲された海亀尾数  
(データ提供: NOAA Fisheries 米国海洋大気庁漁業局)

ねむり針の使用によってマグロの釣獲率が上がる場合があります。



通常針・ねむり針による釣獲率比較  
(データ提供: 遠洋水産研究所)

## 海亀保護と漁業持続の両立に向けて国際社会の取り組みが進んでいます。



### オサガメ

最大の海亀であると同時に、現存する最大の爬虫類の一つ。これまでに記録された最大のオサガメは体長256.5cm、体重916kgの雄。産卵周期は2~3年で、雌は1産卵期に4、5回産卵し1回に61~126個の卵を産む。

— 出典 FAO 生物種カタログ第11巻 世界の海亀類 —

オサガメは現在、太平洋全域で「絶滅の危険のある種」と考えられている。海亀保護団体は、減少原因のひとつにはえなわ漁業による混獲をあげ、禁漁や漁法の改善等を求め熱心な運動を行っている。(写真提供: NOAA Fisheries 米国海洋大気庁漁業局)

生きてかかった海亀は傷つけないように放しましょう!